

18歳の市民を育てる

～社会に開かれた主権者教育～

**東京都立高島高等学校
地歴公民科 大畑方人**

2018年3月21日

自己紹介

大畑 方人 (おおはた まさと)

東京都立高島高等学校 地歴公民科

《プロフィール》

1977年、東京都目黒区生まれ (41歳)

早稲田大学商学部および政治経済学部卒

大学卒業後の半年間、アジア諸国を一人旅

私立中高の教員を経て、2013年度より現任校に勤務

主な関心分野は、主権者教育、キャリア教育、ESDなど

私生活では、文京区本郷と千葉県鴨川市で2地域居住を實踐中

お伝えしたいこと

1. 都立高島高校の紹介
2. 主権者に求められる5つの「C」
3. 授業で大切にしている3つの「C」
4. 実践報告 ～高島平を歩く～
5. 授業を受けた卒業生の感想

都立高島高校の紹介

- 所在地：板橋区高島平
- 課程：普通科・全日制
- 生徒数：約1000人
- 教育目標：
中堅進学校としての「文武両道」の実現

主権者に求められる5つの「C」

- ① ***Critical Thinking*** (批判的思考力)
- ② ***Creativity*** (創造力)
- ③ ***Collaboration*** (協働力)
- ④ ***Communication*** (コミュニケーション力)
- ⑤ ***Citizenship*** (市民性)

授業で大切にしている3つの「C」

- ① **Catchy** … 引きつけ、楽しませる。
(アクティブ・ラーニング型授業)
- ② **Casual** … 身近で日常的な課題から。
(他人事を段階的に「自分ゴト化」)
- ③ **Cool** … 政治を語るのは、カッコいい。
(魅力的な“オトナ”との出会い)

実践報告 ～高島平を歩く～

◀授業の概要▶

- ①高島平の住民にインタビューし、地域の魅力と課題を見つけ出す。
- ②高島平をよりよくするためのアイデアを考え、模造紙にまとめる。
- ③板橋区役所職員の方に、自分達のアイデアを提案する。

実践報告 ～高島平を歩く～

生徒の感想（地域研究の授業後）

“高校生の視点だと高島平の魅力はあまり感じないが、主婦や高齢者は暮らしやすいと話す人が多くて意外だった”

“インタビューをしていると「日本語が分からない」という外国人（中国人）が多くいた。外国人にも暮らしやすい街づくりが必要だと思った”

“若者にとっても魅力的な街にするためには、若者がもっと参加できるようなしくみがあるといいと思った”

“板橋区の職員の方の前で発表するのは緊張したけれど、自分たちの意見を聞いてもらえてうれしかった”